

OUTPUT EXHIBITION

2021

「どこまでが作品？ 想いと思いの冒険」

青森県内特別支援学校・福祉事業所の造形作品展

アウトプット展#03

入場無料

8月19日(木) — 28日(土)

開催時間 / 10:00~17:00 ※8月23日(月)は休館日
青森県立美術館コミュニティギャラリー

●主催: アウトプット展実行委員会 ●助成: 公益財団法人あすなろ福祉財団、あおもりアーツカウンシル
●後援: つがる地区障害者就労支援連絡会さくらジョブネット、青森県障害者就労支援連絡会アップルワーク、三沢地区障がい者就労支援連絡会、八戸商工会、むつ看護学校就労・生活支援ネットワーク連絡協議会
青森県、青森県教育委員会、青森市教育委員会、弘前市教育委員会、青森県特別支援学校校長会、弘前大学、青森県中小企業家同友会、河北新報、デイリー東北新聞社、東奥日報社、陸奥新報社、NHK青森放送局
青森朝日放送(ABA)、青森放送(RAB)、青森テレビ(ATV)、青森県教育厚生会 ●協力: 青森公立国際芸術センター青森、主任学芸員 金子由紀子 / るんぱにい美術館 アートディレクター しんがのくすり研究所
代表 板垣崇志 / 青森アート・プラットフォーム / 秋田公立美術大学 准教授 NPO法人アートリンクうちのあかり代表 安藤郁子 / 青森県立美術館 総括学芸員 工藤健志 / 青森県健康福祉部障害福祉課
「つながる絆—あなたと私の心を後がせよう—」※部分拡大、青森県立美術館蔵学校全校共同制作

アウトプット展#03

「どこまでが作品？ 想いと意思の冒険」

特別支援学校の教育現場で、日々目にするハツとさせられるような表現を埋もれさせたくないという思いから、アウトプット展はスタートしました。関わった一人一人の小さな思いはアウトプット展2015という大きな形で結実しました。3年後の2018年にはその思いはさらに広がりを見せ、多くの協力を得ながらより充実した内容で第2回のアウトプット展を開催することができました。

2回の展覧会を経て、障害のある方の作品が私たちの既成概念を揺るがすことを実感し、当初の思いはますます強くなりました。しかし同時に、いろいろなことを考えさせられました。障害がある人の美術展において、「障害がある」ことをどう扱うのか。また、教育や福祉事業所の中で作品制作に対して行われる支援は、作品の自立性を損なわないのか。もしかしたら支援を含めて表現と言えるのではないか。複数の手によって生まれたコラボレーション作品はどう位置付けられたいのか。さらに、作品が生まれる過程の面白さ自体アートと言えるのではないのか。…今回のアウトプット展は、それらの問いに対する答えを探す冒険なのです。展覧会を通して「どこまでが作品？」という問いを鑑賞者と共有し、作品に込められた「想い」と、それを受け取った支援者や鑑賞者の「思い」が共鳴するそのこと自体を作品として展示することを試みたいと思います。

障害のボーダーを取り払い、作者と支援者、鑑賞者が作品を通してフラットな関係性を持つことで、障害のボーダーを取り払おうと考える私たちが対峙しなければならない一つの出来事があります。5年前に起こった神奈川の知的障害者施設「津久井やまゆり園」の事件です。人々の心に重いしこりを残した事件は、決して人ごとではありません。気づかないうちに一面的な価値観に心が囚われることは、誰にでも起こりうることでと思うからです。

アウトプット展2021は、自由を、生きることを大切にしたいと思っています。それがどんなに微かであっても、表現・発信＝アウトプットは人間の息遣いそのものであり、その生の多様性をすくい上げ、寄り添い、共有していくことが、私たちの凝り固まった心を解放する可能性を秘めていると信じています。

企画展示1 杉浦 篤（工房集/埼玉県）

何年も触り続けた写真の作品が目玉され、文化庁主催の「すごいぞ、これは！」展をはじめ、多数の展覧会に作品が展示されている。

企画展示2 似里 力（るんぴにい美術館/岩手県）

糸を切って、結ぶ。また切って、また結ぶ。「無題」の糸玉。似里さん自身は糸玉を作品だとは思っていない。ただ切って結ぶ喜びは、多くの人を魅了している。

企画展示3 であい授業プロジェクト

るんぴにい美術館のアートディレクター板垣崇志さんを中心とした「であい授業プロジェクト」は、岩手県内の中学生を対象として、文字を絵にしてしまう小林寛さんを講師に2016年にスタートした。障害理解を目的としたプロジェクトは年間十件以上の実績を積み重ねている。

企画展示4 ダイアログ・ツリー（県立盲学校×黒石高校）

県立盲学校児童生徒に黒石高校情報デザイン科の生徒がインタビューし、録音した音声を立体的に再生、展示する。



K-S



弘前盲学校



成田健太郎



田中正喜



今恵美子

●展覧会講演（リモート）

8月22日（日）13:30～「多様な人とともに表現を捉え直す試み」

キュレーター/プロデューサー：田中みゆき（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院非常勤講師）

「障がいはい世界を捉え直す視点」として、義足のファッションショー、音で語るダンス、音だけでプレイするゲーム、全盲者の映画制作を追うドキュメンタリー等をプロデュース。

●ワークショップ

8月21日（土）13:30～、22日（日）10:00～12:00

「鑑賞と表現のワークショップ～思考の波をアウトプット～」

講師：石岡有佳子（Artsudio tete代表/ワークショップデザイナー）

参加者と講師が一緒にVisual Thinking Strategies（対話による鑑賞方法）で、作品をじっくり鑑賞し、作者や作品に対する想いを語るメッセージツリーの作成を行います。

定員20組/無料 どなたでも参加できます（事前申込制）

【お申込連絡先】artstudio tete

TEL.090-2799-6671 Email artstudio.tete.ws@gmail.com

●アクセス

- ・青森市営バス
青森駅前6番バス停から三内丸山通駅行き
「県立美術館前」下車（約20分）
・ルートバスおだたん号
新青森駅前バス停から乗車
「県立美術館前」下車（約11分）
・新青森駅から車で約10分
・青森駅から車で約20分
・青森空港から車で約20分
・東北縦貫自動車道青森ICから車で約5分



【連絡先】アウトプット展実行委員会事務局

青森県立青森若葉養護学校内 〒030-0913 青森県青森市東通1-7-1 TEL.017-736-8951 FAX.017-736-8950 MAIL makanaemasaki@icloud.com

青森県立青森第二高等養護学校内 〒030-0951 青森県青森市戸山宮崎22-1 TEL.017-742-6624 FAX.017-742-6646 MAIL yanagawamichisuke@gmail.com